

2025年度予算について

学校法人東京理科大学理事会

日本経済は緩やかな回復基調にある一方、インフレやエネルギー価格の高騰が家庭や企業の経済的負担を高めている。このような状況下において、2025年度予算では、本学の教育活動支出が年々増加していることを踏まえつつ、教育研究の質の向上と、強固な財政基盤の確立を目指し、教育活動収支差額及び経常収支差額のプラス維持を目標に予算編成を行った。

2025年度は「中期計画2026」の最終年度の前年にあたり、計画達成に向けた重要な年である。2024年秋には葛飾キャンパスに新棟「共創棟」が竣工し、同キャンパスすべての施設が完成した。この「共創棟」の活用をはじめとして、本学の教育研究活動をさらに活性化させるため、以下の項目を2025年度予算に計上した。

- ・ 神楽坂キャンパス：新学科設置に伴う研究室改修及び再構築マスタープランの具体化
- ・ 野田キャンパス：薬学部移転後の跡地改修及び新学部・学科設置に向けた整備
- ・ 葛飾キャンパス：新棟完成に伴う研究室等の移転

1. 教育研究の充実

- (1) 学部等配分予算、機構配分予算、教育・研究重点化配分等の教育研究費
- (2) 給付型奨学金である新生のいぶき奨学金及び乾坤の真理奨学金、冠付奨学金等
- (3) 共創棟を含む葛飾キャンパスの管理費用

2. 施設等環境整備の充実

- (1) 神楽坂地区においては新学科研究室の改修等
- (2) 野田地区においては薬学部移転後の跡地改修及び新学部・学科設置に向けた整備等
- (3) 葛飾地区においては教室及び研究室の改修等
- (4) 長万部地区においてはエソール会館の外装改修等
- (5) 情報システム関係では学内クラウド基盤の更新等

3. 人件費への対応

- (1) 人事院勧告対応等のための、人件費増加に対する予算措置